車椅子贈呈

御明神小学校のみなさんと

1月31日、御明神小学校のみなさんからアルミ缶収集の収益で購入した車いすを寄贈していただきました。今年度は1,299キロ、64,950個のアルミ缶を集めたそうです。ありがとうございました。大切に使わせていただきます。

日赤鶯鳴荘の基本理念と基本方針

1、理　念

私たちは、人道・博愛・奉仕の赤十字精神に則り、利用者の人権と福祉を守ることを第一に、安心で安全な施設づくりを目指します。

2、基本方針

- 私たちは、利用者の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意の下に利用者本位のサービスを提供します。
- 私たちは、保健・医療、福祉の地域関係機関等と連携を図り、住民から信頼される地域に根ざした福祉拠点の役割を担います。
- 私たちは、利用者等の声や苦情を真摯に受け止め、日々研鑽を積み、常に想像力を持って行動し、サービスの改善向上に取組みます。
- 私たちは、福祉職員そして赤十字職員として、日々の業務に埋没せず、常に成長を目指します。

うぐいすの声

2011年3月発行 **通巻97号**

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

特別養護老人ホーム
日赤鶯鳴荘

クリスマス会

嬉しくて涙が出ちゃう

12月17日、食堂においてクリスマス会が行われました。

職員による「きよしこの夜」の歌声とキャンドルの炎で雰囲気は聖夜を思わせる中、軽快な鈴の音のリズムとクラッカーの鳴り響く音とともにサンタクロースが大きなプレゼントの袋を肩に登場し、利用者一人ひとりにプレゼントを手渡してもらいました。

会場に参加出来なかった利用者へも各部屋をまわってプレゼントをもらう事ができ、皆さん素敵な笑顔を見せておりました。

餅つき忘年会

12月28日、利用者の皆さんの忘年会、餅つきが行われました。

忘年会の前にホールで大きな臼と、杵を使い職員が昔ながらの餅つきを披露し、ホールに人が入りきらないほどの参加人数で、懐かしそうに見ている姿が印象的でした。その後、食堂で忘年会が行われました。つきたてのお餅と、美味しいご馳走をいただきながら、中川アイ子社中による余興が行われ、歌、踊り、三味線などで、皆さんを楽しませてくれました。最後は利用者の方の歌で一年の締めくくりとなりました。

新年会

今年はうさぎ年 皆で「ぴょんぴょん☆」

まるでハワイに居る様な衣装、寒さもふっとびます

チョコレートディスコに合わせて可愛い衣装です

工事現場の衣装。カッコイイですね

1月4日、鶯鳴荘恒例の新年会が食堂で行われました。

園長より新年のあいさつを頂き、自治会副会長千葉ハツヨさんの乾杯の音頭で会食となり、美味しいご馳走を頂きました。

新年会毎年の楽しみである職員の余興では、外山節から始まり、どのグループも思考を凝らして、そっと準備してきた成果を利用者の皆さんに、お見せする事ができました。可愛い仮装や、リズミカルなダンスに、「知っている人達の演技は、本当におもしろい」と話され、他にも「上手だった」「おかしかった」との意見が聞かれました。

豪華な料理をいただき、余興と共に満足のできる、良い年始めとなりました。

外山節です

豆まき

今年が年女の２人は袴を着てステキ！

参加出来無くてお部屋に居る方にも
「鬼は外！福は内！」

２月２日（水）一足早く、鶯鳴荘では節分の豆まきが行われました。

南畑小学校３、４年生13名と、先生３名が来所し、袴姿の利用者がホールにて豆をまき、他利用者と児童はそれぞれ手作りの鬼の面を頭に被り、豆、チョコレート、白い風船を、拾ってもらいました。ホールに出て来れなかった利用者の為に、児童の皆さんには二つに分かれて各居室をまわり、「鬼は外、福は内」と、大きな声で叫び豆を床頭台に置いてもらいました。かわいい鬼たちに豆まきの唄も歌ってもらい、とても楽しい時間を過ごすことができました。

自分で色を塗ったのよ、似合ってる？

△ 可愛いうさぎ

▽ つるし飾り

クルクルリボン

舛沢地区老人クラブとの

交流会

二月十七日、舛沢地区老人クラブとの交流会が行われました。老人クラブ8名の方々が参加して頂き、利用者、職員でチームを編成し4チームで輪投げ、ボール送りの合計点数で競いました。輪投げ個人の得点では、老人クラブの皆さんが高得点を取り、チームを引っ張っていました。ボール送りでは、各チーム一列になり小さいカップを持ち、カップでボールを送りましたが、時には床に転がったりとハプニングがありました。ゲーム終了後は、おやつで一息つきながら、会話をし和んでいただきました。皆さんの笑顔であっという間に時間が過ぎ、楽しい交流会となりました。

一〇点狙うかな？ エヘヘ（笑）

急いで急いで落ちないように…

皆と一緒に食べるおやつはいつもよりおいしい！

デイサービスだより

今年は、雪が多く足元が悪い中、利用者の皆さんは、毎回元気に来所されています。

デイサービスでは、干支のうさぎ作りを行いました。綿をいっぱい詰め込み、パンパンになった可愛いうさぎが出来上がりました。そして、春の代表的な歳事といえば、桃の節句、端午の節句です。こどもの幸せを願って、ひとつひとつ心を込めて作ったお細工物で、つるし飾りを作りました。毎年参加している御所公民館手作り展へこの作品を出展しました。その他にもクルクルリボンという手作りおもちゃを作り、利用者の皆さんは、会話をはずませ楽しく作られました。4月には、お花見ドライブを予定しております。

たんの吸引等について

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘（以下「当施設」と記載します。）では、国と県からの通知に基づき、利用者様に対するたんの吸引や経管栄養等の一部の行為を嘱託医、看護職員の指示の下、看護職員と介護職員が協働して実施することにしましたのでご理解をお願いします。

医療的ケアを必要とする入所者が増加

厚生労働省からの通知では『近年、医療の処置が必要な要介護者が増加しており、特別養護老人ホームにおいても、高齢化や要介護度の重度化に伴い医療的ケアを必要とする入所者が増加している。一方、特別養護老人ホームは医療提供を主目的とした施設ではないため、看護職員の配置等の医療提供体制が充分ではなく、たんの吸引や経管栄養が必要となる要介護者の入所が難しい、又は入所可能な人数を一定程度に止めざるを得ない施設もあるといった状況にある。』と現状を述べています。

一定の条件の下でケアの実施

このため、厚生労働省では「特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携によるケアの在り方に関する検討会」を平成二十一年に設置し、特別養護老人ホームにおける医療的ケアの在り方について検討を行い、平成二十二年三月三十一日に報告書を取りまとめました。

この報告書では『今後も口腔内のたんの吸引及び胃ろうによる経管栄養（栄養チューブ等の接続・注入開始を除く。）（以下「口腔内のたんの吸引等」と記載します。）が必要な高齢者が増加する中で、本来、特別養護老人ホームにおける看護職員の適正な配置を進めるべきであるが、特に夜間において口腔内のたんの吸引等のすべてを担当できるだけの看護職員の配置を短期間のうちに行うことは困難であると考えられることから、医師・看護職員との連携の下で介護職員がケアを行うモデル事業の実施方式を特別養護老人ホーム全体で許容することは、医療安全が確保される一定の条件の下では、やむを得ないもの。』とまとめています。

当施設に安全対策委員会を設置

厚生労働省（平成二十二年四月一日付）の通知では、「一定の条件」を、①文書による利用者の同意、②的確な医学管理、③医行為の水準の確保、④施設における体制整備等とし、これらの条件を満たした場合に、特別養護老人ホームにおいて、医師・看護職員と介護職員の連携による口腔内のたんの吸引等の実施が可能であるとしています。

看護職員と介護職員の連携によるたんの吸引等の実施要件

①文書による利用者の同意	■施設長が施設の組織対応を説明した上で、介護職員が実施することについて、書面による本人・家族の同意を得る
②的確な医学管理	■嘱託医から看護職員に書面による指示 ■看護職員の指示の下、看護職員と介護職員が連携、協働して実施 ■嘱託医、看護職員及び介護職員の参加の下、利用者ごとに個別具体的な計画を整備
③医行為の水準の確保	■看護職員・介護職員に対する研修の実施 （モデル事業では、12時間の研修を受けた看護師が、施設内で14時間の研修を介護職員に対して行ったものであり、原則として同等の知識・技能に関する研修が必要）
④体制整備	■施設内において、以下の体制整備を行う ①安全性確保のための施設内委員会の開催 ②記録・マニュアルの整備 ③緊急時対応の手順の確認・訓練の実施　等

※厚生労働省「特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携によるケアの在り方に関する取りまとめ」（平成22年3月31日）より作成

当施設においては、厚生労働省の通知に基づく「一定の条件」を満たすことにより、利用者様に対する当該ケアを嘱託医、看護職員の指示の下で看護職員と介護職員が協働して実施することにしました。

これらのケアは、特別養護老人ホームにおける他の医療的なケアと比べ、医療関係者との連携・協働の下では相対的に危険が低いとされていますが、当施設においては園長の統括の下に関係職員からなる「口腔内のたん吸引等安全対策委員会」を設置し、利用者様の安全確保に向けた最善を尽くして参ります。

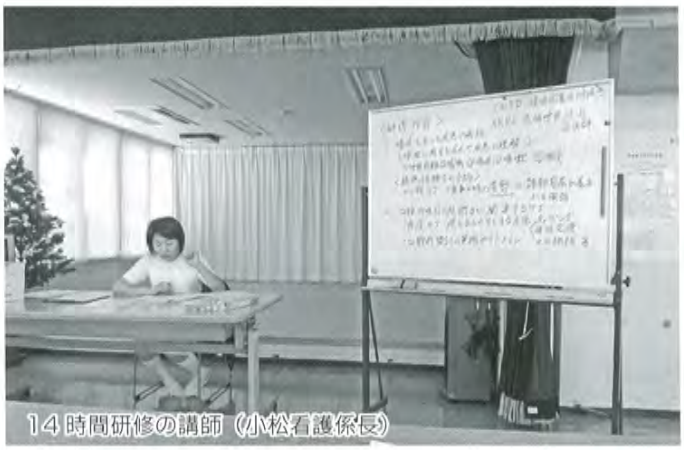
当施設の具体的な対応

① 実施体制の整備

当施設では、介護職員による口腔内のたんの吸引等の安全を確保する体制を整備するため、安全対策委員会を設置したほか、医学的管理を行う看護職員の適正な配置、職員間の情報の共有化、夜間の連絡体制の再構築、ひやりはっと事例の収集・評価などに取組んでいます。

② 研修の実施

当施設では、看護職員と介護職員が連携・協働して口腔内のたんの吸引等を安全に実施するため、岩手県が実施した研修会（十二時間）に2名の看護職員を派遣しました。また、これを受講した看護職員が講師となって、施設内の看護職員及び介護職員に対し、利用者の安全を図るために必要な知識・技術に関する研修（十四時間）を実施し、1月末までに対象職員全員が受講しました


14時間研修の講師（小松看護係長）

③ 説明と同意の取組み

当施設では、介護職員等による口腔内のたんの吸引等の実施に当たっては、利用者（又はご家族）様に対し園長から口頭又は書面等によりご説明を行い、ご理解をいただいた上で、当施設の介護職員が当該行為を行うことについて、書面により同意をいただくことにしました。

また、今後新たに当施設利用を開始される方々には、当施設の方針により介護職員が口腔内のたんの吸引等を実施する可能性があることを予め説明を行い、同意をいただくこととしています。

たん吸引の実技指導を行う中川看護師

終わりに、こうした当施設の方針にご理解とご賛同をいただきますようよろしくお願いいたします。

また、ご不明の点がございましたら、どうぞ当職までご連絡をお願いいたします。

（文責：園長　菊地賢次）

機器操作指導を行う小松看護係長と中川看護師

行事予定

4月
○誕生会 ○ショッピング ○町内遊覧

5月
○大相撲星取り ○誕生会 ○ショッピング ○町内遊覧

6月
○誕生会 ○ショッピング ○町内遊覧 ○運動会 ○防災訓練

ご協力 ありがとうございました。

- 上野 節美 様
- 南畑小学校 様
- 白石食品 様
- 御明神小学校 様
- 日赤奉仕団 野菊の会 様

おつかれさまでした。

- 介護福祉士 松村（まつむら） 睦（むつみ） さん
- 介護職員 菊池（きくち） 律子（りつこ） さん

編集後記

3月は卒業の季節です。卒業式の歌といえば「蛍の光」「仰げば尊し」ですが、数年前、子供の卒業式で父兄の皆さんとレミオロメンの「3月9日」を合唱しました。

皆さんの思い出の曲は、何でしょうか？

4月からの新しい出逢いが楽しみです。

通信欄

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘

〒020-0573 雫石町南畑第32地割263番地
TEL 019-695-2131 FAX 019-695-2576
E-mail oumeisou@h8.dion.ne.jp